

F P D (フラットパネルディテクタ) 導入のご案内

この度、当病院放射線科ではX線一般撮影室にコニカミノルタ ジャパン社製F P Dシステム AeroDRを導入いたしました。



X線一般撮影（俗に言うレントゲン写真）はフィルムからCR（コンピュータド・ラジオグラフィ）となり、画質の向上や放射線被曝の低減が図られてきました。更に、F P Dではその性能と最新の画像処理技術により、従来のCRシステムと比較して以下の様な特徴があります。

F P Dシステムの特徴

- 20%から最大40%程度の放射線被曝を低減する事が可能です。
- 高画質で高精細なX線画像を提供する事が可能です。
- 迅速にX線画像を提供する事が可能です。
- 撮影毎に体の下で入替えていたカセット（装置）を入替えずに連続撮影ができ、患者さんの身体的負担を軽減する事が可能です。

今回、X線一般撮影領域では、一部の検査を除いて大部分をF P D化できました。これをフル活用して、患者様が安心して、有意義な検査を受けて頂けるよう、放射線科スタッフ一同さらなる努力を重ねて参ります。